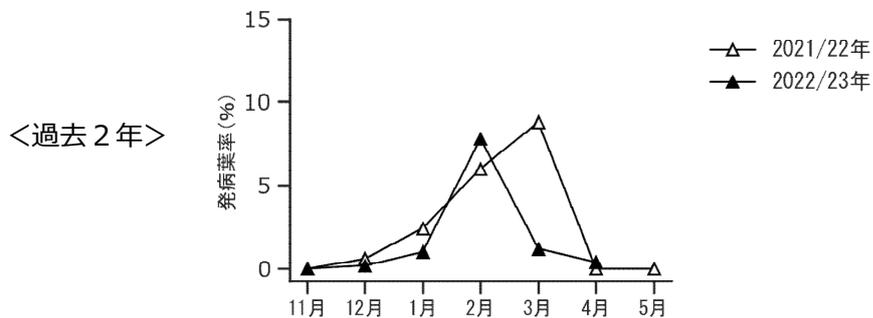
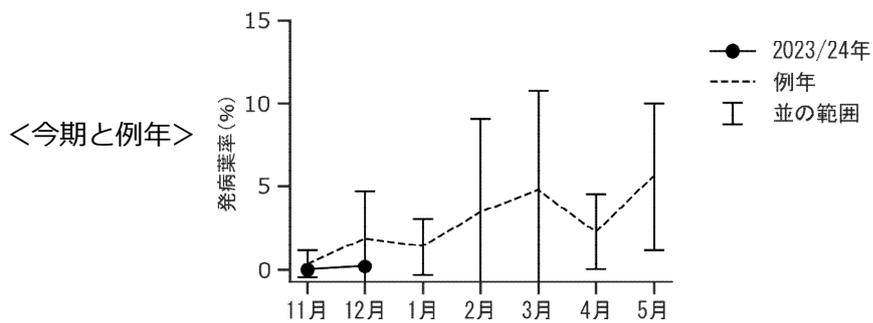


作物	とうがん(施設・立体栽培)	地域	宮古群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	12 月の発生量 (例年比)	並	
予 報	12 月からの増減傾向	→	
	1 月の発生量 (例年比)	並	
予報の根拠		例年の発生量の推移 (→)	

調査結果

発病葉率の推移



・発生施設率20.0% (例年 : 35.0%)

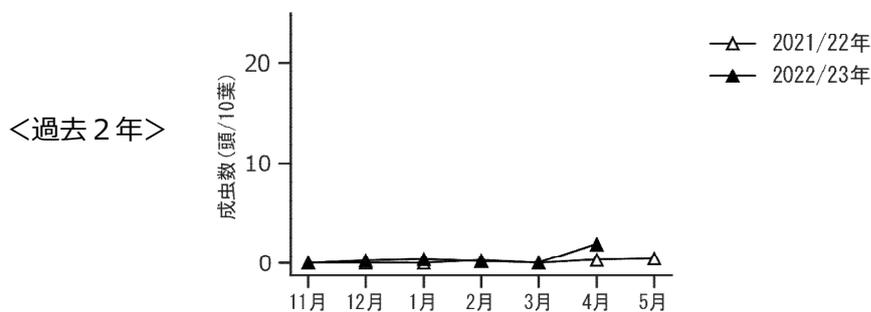
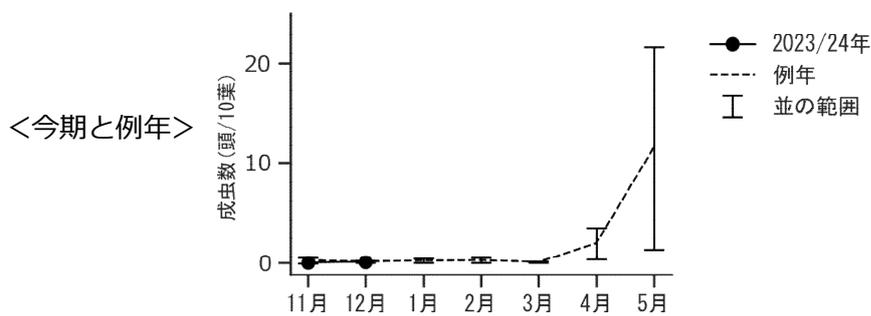
防除のポイント

- ・多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・過繁茂を避け、透光通風を良くする。
- ・老葉や発病葉は伝染源になるので除去し、施設外に持ち出し処分する。
- ・多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点をおく。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

作物	とうがん(施設・立体栽培)	地域	宮古群島
病害虫名	② ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	12 月の発生量 (例年比)	並	
予報	12 月からの増減傾向	→	
	1 月の発生量 (例年比)	並	
予報の根拠	例年の発生量の推移 (→)		

調査結果

成虫数の推移



・発生施設率60.0% (例年：25.0%)

防除のポイント

- ・本種はスイカ灰白色斑紋ウイルスを媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。